

(別紙5)

整理番号 2018P-099
補助事業名 平成30年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

音楽を通じて、青少年の情操教育の推進を図り、その成果を広く一般に発表し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

秋季演奏会（第4回オータム・コンサート）と春季演奏会（第19回演奏会）の実施
(URL) <http://mitaka-sportsandculture.or.jp/geibun/wind/event/20181014/>
<http://mitaka-sportsandculture.or.jp/geibun/wind/event/20190317/>

秋季演奏会（第4回オータム・コンサート）

第1部の団員有志によるアンサンブルコーナーは、5グループが出演し、バロック時代から現代曲まで幅広い時代を網羅できるプログラムとなった。特にチェロ・アンサンブルでは講師や卒団生も賛助として出演し、ヴィラ＝ロボスの大作に挑んだ。木管五重奏では、演奏者にセリフと演技が求められる現代作品を披露した。後者は、おそらく全国のジュニアオーケストラの中でも初めての試みである。第2部は、弦楽合奏と管・打楽器によるアンサンブルを各1作品ずつ披露し、いずれもメンデルスゾーン作品にまとめた。最後の全体合奏ではプロコフィエフの「古典交響曲」を演奏し、固定概念にとられない自由な表現を音楽で示した。

春季演奏会（第19回演奏会）

フランスの作曲家、ケクランの作品に始まり、オーボエ協奏曲とプロコフィエフの「古典交響曲」全楽章を演奏した。ケクランの作品は、演奏された記録がほとんどないが、ソロが各所にあることから、団員にはスコアを配布し、自身が担当するパート以外の楽器にも耳を傾けるよう徹底した。オーボエ協奏曲では、当団に所属する高校2年生の団員をソリストに抜擢した。ソリストと周りの団員がお互いの音を聴き、そして寄り添うことを目標とした。さらに、昨年度好評だったロビーコンサートをウェルカムコンサートに改め、フルートの団員による三重奏を披露した。

(別紙5)



秋季演奏会



春季演奏会

2 予想される事業実施効果

平成30年度は、秋季・春季演奏会ともに近・現代作品を取り上げることが多かった。これは平成29年度に古典作品を中心に学んだことを昇華させ、レパートリーの拡大を目指したためである。いわゆる世間に広く親しまれている名曲ではないが、練習を重ねることで作品の魅力を充分理解し、それを聴衆に対して表現できるよう練習を進めた。また、パート譜以外にもスコアを配布し、自身が担当するパート以外も積極的に耳を傾けることを常に意識させ、音楽を多角的に捉えられるよう指導した。

令和元年度においては、新曲委嘱作品に取り組むことになっている。参考となる音源は存在しないため、楽譜を読み取る力や作曲者の意図をくみ取る力が求められる。しかし、バロック時代と呼ばれる1700年代から近現代の1900年代の作品に取り組んだ経験を活かし、本当の意味でこれまでの成果を披露できる機会だと認識している。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

・第4回オータム・コンサート	チラシ	33,000部
・第4回オータム・コンサート	ポスター	330部
・第4回オータム・コンサート	パンフレット	600部
・新聞折込チラシ	MJO特別号(新聞折込広告)	150,000部
・第19回演奏会	チラシ	33,000部
・第19回演奏会	ポスター	330部
・第19回演奏会	パンフレット	600部

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団
(コウエキザイダンホウジンミタカシスポーツブンカザイダン)

住 所： 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-12-14

代 表 者： 理事長 内田 治 (ウチダ オサム)

担 当 部 署： 芸術文化課 (ゲイジュツブンカカ)

担 当 者 名： 吉田 歩 (ヨシダ アユミ)

電 話 番 号： 0422-47-9100

F A X： 0422-47-6700

E - m a i l： a-yoshida@mitaka-sportsandculture.or.jp

U R L： <http://mitaka-sportsandculture.or.jp/geibun/mjo/>